クリーンダイレクト

次亜添加型蛋白・油脂分解剤
錆抑制強化・次亜安定化型（当社比）

製品特徴

●次亜へ添加することで、次亜を安定化させることができます。安定化することにより、次亜本来の持つ消毒性が持続します。
●強い乳化分散力により蛋白、油脂、糖脂質などの有機物を短時間に分散させ廃液とともに洗い落とすことが出来ます。
●保護コロイド作用によって機器に使用されている部材の腐食を軽減します。

主要成分

●苛性アルカリ
●珪酸塩
●有機リン系キレート剤

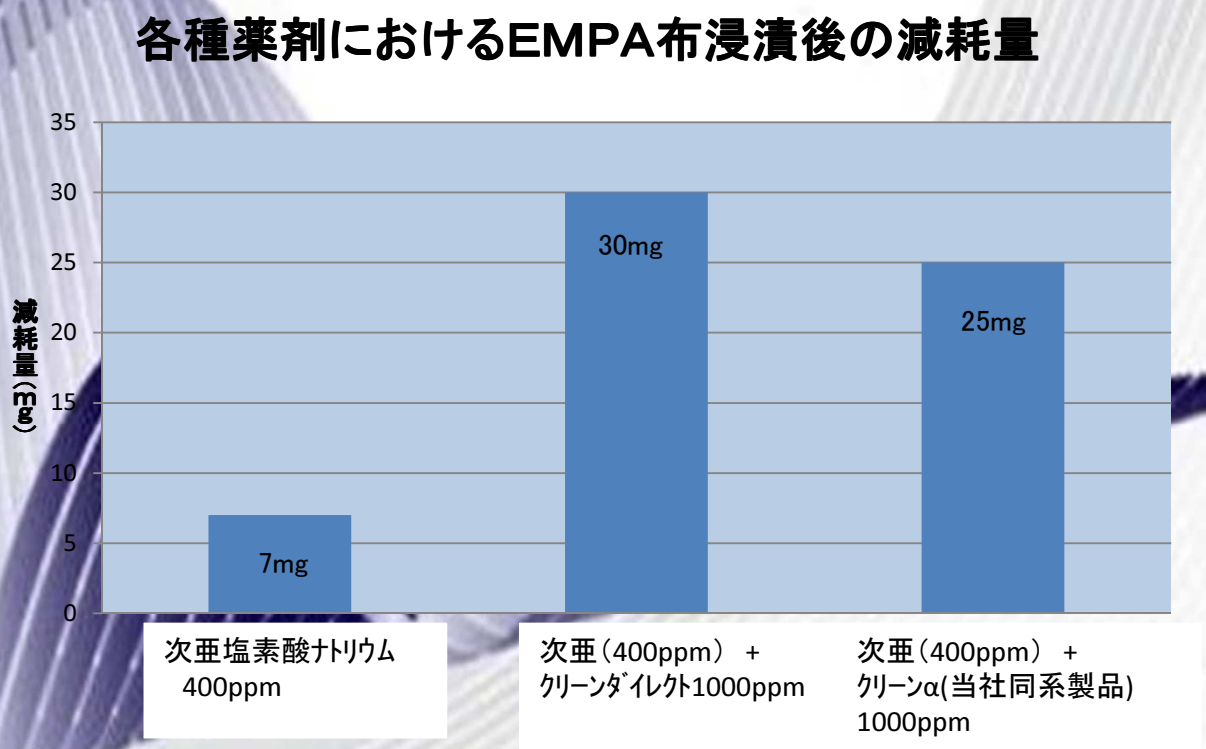
物理的及び化学的性質

●外観　：　無色透明液体
●pH　：　13.5±0.5　（アルカリ性）
●比重　：　1.07±0.05
●溶解性　：　水に任意の割合で溶解する
●COD値（100倍希釈）　：　2mg／ﾘｯﾄﾙ
●BOD値（100倍希釈）　：　測定できない

使用方法

●次亜に添加し、本剤を100-150倍に希釈してご使用下さい。
●シングルパス又は貯留にてご使用下さい。その後、RO水等で、十分水洗して下さい。

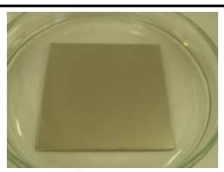
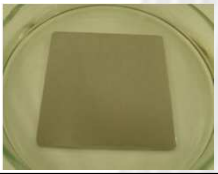
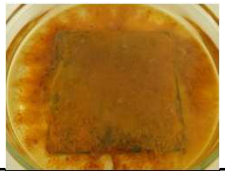
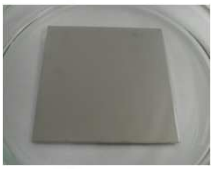
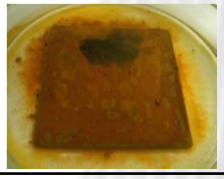
EMPA汚染布の減耗試験（次亜塩素酸ナトリウムとの比較）



金属に対する影響

各金属（SUS304及び鉄SPCCSB）のテストピース（50mm×50mm、厚さ1mm）を
次亜400ppm+本剤希釈液（1000ppm）中に浸漬して液温をステンレスSUS304は38℃に、鉄SPCCSBは室温に保ち
4週間放置する。試験前及び試験後の外観形状変化及び、テストピースの重さを測定しその重量減をもって金属が冒されたものと判断した。

	ステンレスSUS304			鉄SPCCSB		
	浸漬前重量（g）	浸漬後重量（g）	重量変化量（g）	浸漬前重量（g）	浸漬後重量（g）	重量変化量（g）
次亜400ppm	18.381	18.374	−0.007	19.286	19.165	−0.121
次亜400ppm+本剤1000ppm	18.415	18.414	−0.001	19.335	19.229	−0.106

	ｽﾃﾝﾚｽSUS304		鉄SPCCSB	
	次亜400ppm	次亜400ppm+本剤1000ppm	次亜400ppm	次亜400ppm+本剤1000ppm
浸漬5分後				
浸漬1週間後				
浸漬1ヶ月後				

合成樹脂に対する影響

各樹脂（PC；ポリカーボネート樹脂、アクリル樹脂、ABS；アクリロニトリルブタジエンスチレン）の
テストピース（20mm×80mm、厚さ1mm）を次亜400ppm+本剤希釈液（1000ppm）中に浸漬して液温を室温に保ち4週間放置する。
試験前及び試験後の外観形状変化及び、テストピースの重さを測定しその重量減をもって樹脂が冒されたものと判断した。

	PC；ポリカーボネート樹脂			アクリル樹脂			ABS；ｱｸﾘﾛﾆﾄﾘﾙﾌﾞﾀｼﾞｴﾝｽﾁﾚﾝ樹脂		
	浸漬前重量（g）	浸漬後重量（g）	重量変化量（g）	浸漬前重量（g）	浸漬後重量（g）	重量変化量（g）	浸漬前重量（g）	浸漬後重量（g）	重量変化量（g）
次亜400ppm	1.929	1.931	0.002	1.918	1.932	0.014	1.839	1.850	0.011
次亜400ppm+本剤1000ppm	1.920	1.925	0.005	1.898	1.912	0.014	1.844	1.855	0.011

使用上の注意

●使用時には必ずゴム手袋（布、天然皮革製手袋は適さない）、保護めがね、マスクなどの保護具を着用し皮膚や目に触れないようにして下さい。（直接素手で本剤を扱ったりすると、その強い脱脂蛋白分解性で皮膚がカサカサになったり刺激を伴ったりします。）万一入ったり付いたりした時は直ちによく水洗して下さい。痛みや異常があれば医師の診察を受けて下さい。

●本剤及び次亜塩素酸ソーダの希釈水は、必ずRO水を使用して下さい。（地下水又は水道水、工業用水を用いると、珪酸カルシウム沈殿物を析出します。）

●目に入った場合はこすらずに、直ちに流水で15分以上注意深く洗い流して下さい。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も流水で数分間注意深く洗浄して下さい。その後、医師の診察を受けて下さい。

●酸性物質との混合は厳禁です。

保管上の注意

●直射日光を避け冷暗所に保管して下さい。
●本剤を開封した場合、速やかに使い切って下さい。

荷　姿

◎ 9kg×2箱/1ｹｰｽ
◎18kg/1ｹｰｽ

【販売代理店】

【製造元】
株式会社　エー・エヌ　テック
〒521-1114　滋賀県彦根市彦富町931-5
TEL：0749-43-8017　FAX：0749-43-3021